

15. 産前、産後の疾患

文献

山本小百合、池上典子、尾崎朋文. 産後の下肢むくみに対する円皮鍼の効果について. *東洋医学とペインクリニック* 2015; 44(2): 48-53. 医中誌 Web ID: 2015211886

1. 目的

産後の下肢むくみに対する円皮鍼の有効性評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

岩津助産院、大阪、日本

4. 参加者

I助産院に通う褥婦 16 名 (平均年齢 31.0±6.0 歳)

5. 介入

Arm 1: 円皮鍼治療群 10 名。円皮鍼 (パイオネックス 0.20×0.9mm、セイリン製) を、左右の三陰交 (SP-6)、陰陵泉 (SP-9) に貼付。4 日後に貼り換え、介入期間は合計 28 日間とした。

Arm 2: シール貼付群 6 名。シールを、左右の三陰交 (SP-6)、陰陵泉 (SP-9) に貼付。4 日後に貼り換え、介入期間は合計 28 日間とした。

6. 主なアウトカム評価項目

左右の下腿部内果から 5cm 上の周径 (内果周径)。

7. 主な結果

右側内果周径における出産直後と比較した経時変化は、円皮鍼治療群で 22 日目から 28 日目の 7 日間で有意に低下した ($P=0.011$)。左側内果周径における経時変化は、円皮鍼治療群で 8 日目から 14 日目の 7 日間 ($P=0.036$) と 22 日目から 28 日目の 7 日間 ($P=0.04$) で有意に低下した。シール貼付群では両側ともに有意な変化がみられなかった。交互作用は、両側とも相殺効果はみられなかった。

8. 結論

産後の下肢むくみに対する円皮鍼は有効である。

9. 鍼灸医学的言及

三陰交穴、陰陵泉穴による、脾気低下・腎陽不足を補う作用について言及している。

10. 論文中の安全性評価

記載なし。

11. Abstractor のコメント

むくみに対する円皮鍼の効果についての RCT としては、希少な研究である。円皮鍼の代用として対照群にシールを用いることによって、バイアスを抑えるための工夫がなされている。しかし、ブラインドに関する記載がないことは残念である。今後、円皮鍼の特性を活かした二重盲検 RCT の研究数を増やすことにより、比較的軽微な刺激が特徴の日本鍼灸の有効性についてのエビデンスが確立されることを期待したい。

12. Abstractor and date

保坂政嘉 2016.11.19